

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31 年 1 月 31 日

事業所名 伊勢崎事業所

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1		3	支援用個室に備品が収納されている為、収納場所の確保と整理整頓を行い、安心して使用できるよう改善します。
	②	職員の配置数は適切であるか	2		2	職員の配置数は適切ですが、業務改善を行い、より安心な配置にします。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1	1	設備上、子供が使いやすく構造化されていないので、流し台の高さなどを工夫します。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		2	2	言語の異なるスタッフ間のよりよい情報共有の対応策を講じます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	1	2	保護者の意向を反映できるよう努めます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		2	2	公開します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	2	必要に応じて第三者評価の導入について検討します。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	2	1	研修の機会を多く設けます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	1	1	より良いアセスメントツールにより、適切に状況把握と課題発見、ニーズの設定に努めます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		3	1	アセスメントツールを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	1	2	言語の異なるスタッフ間のよりよい情報共有への対応策を講じます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		新規プログラム等の検討をします。時間的・物的課題について検討します。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1		ニーズに合わせ療育を行っています。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		状況に応じたより適切な支援を提供できるよう、より一層の向上を目指します。	

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	2	1	言語の異なるスタッフ間の情報共有について、更に配慮していきます。パート職員と打ち合わせ時間の工夫をします。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		3	1	言語の異なるスタッフ間の情報共有について、更に配慮していきます。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		検証・改善の共有については、通訳対応を講じます。

3

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	1	1	定期的に支援の評価・見直しを行いより一層の向上を目指します。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	2	1	1	より一層の向上を目指します。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4			児童発達管理責任者・担当指導員が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	1	3		積極的に行っていきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3		幼稚園や保育所と行っています。より機会を増やします。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3		専門機関へ相談されるべき内容も受けることもあるため、必要に応じて、連携や対応を図ります。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	1	積極的に行っていきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1		3	今後、機会を増やします。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	現在そういった機会はありませんが、保護者の意向に沿って検討します。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		1	3	積極的な利用を検討します。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	2		児童の発達等に係る情報共有は速やかに行い共通理解を得られるよう努めます。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	1	発達支援センター等関係機関と連携して支援を行います。	

保護者への説明責任等	③①	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1	3		ポルトガル語で契約書を読み上げていますが、詳細を説明するために通訳や翻訳等の対応をします。
	③②	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	2		随時行っていますが、今後、定期的な場の設定を検討します。
	③③	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	1	イベント日が懇談会を兼ねる形となっています。定期的な場の設定を検討します。
	③④	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	2		相談は丁寧に迅速かつ適切に対応して、より一層の向上を目指します。
	③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2		2	ブログやフェイスブック等を利用し、定期的な発信について検討を行います。
	③⑥	個人情報に十分注意しているか	3	1		個人情報の取り扱いには十分注意していますが、誤解を生じることのないようさらに徹底します。
	③⑦	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1	3		言語の違いを考慮して情報共有について、更に配慮をしていきます。
	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		3	イベント開催時にボランティアも含め地域住民の参加について検討します。
非常時等の対応	③⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2		2	対策を行っていますが、不十分なこともあるため、今後、さらに研修及び訓練を積極的に行います。
	③⑩	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	1	1	集団療育のみ行っていたので、今後、個別療育での実施も行います。
	③⑪	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			虐待防止マニュアルの一部分を、ポルトガル語に翻訳して勉強会を行いました。外部研修の機会等も利用し、積極的に参加します。
	③⑫	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2		2	マニュアル・ガイドラインに沿って適切に対応しています。
	③⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3		アレルギーについての情報共有を行います。
	③⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	1	1	言語の違いを考慮して情報共有について、更に配慮をしていきます。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 21 日

事業所名 伊勢崎事業所 保護者等数（児童数） 1 回収数 1 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	1			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	1			
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか		1		より良いアセスメントツールにより、適切に状況把握と課題発見、ニーズの設定に努めます。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	1			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1		現在そういった機会はありませんが、保護者の意向を善処し検討します。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1		イベント日が懇談会を兼ねる形となっています。定期的な場の設定を検討します。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか		1		言語の違いを考慮して情報共有について、更に配慮をしていきます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	1			

	⑭	個人情報に十分注意しているか		1		個人情報の取り扱いには十分注意していますが、誤解を生じることのないようさらに徹底します。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか		1		対策を行っていますが、不十分なこともあるため、今後、さらに研修及び訓練を積極的に行い。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		1		集団療育のみ行っていたので、今後、個別療育での実施も行います。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか		1		事業所全体で、より一層の支援の向上を目指します。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	1			

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。